

議会だより

かみかわ

No.84

4/10

2025



特集

・町民が考える神河町議会の課題と解決策
・議会改革の“いま”と“これから”

満開の桜の下、笑顔の花咲く
寺前保育所の子どもたち

表紙
題字

寺前小学校4年

あお き っ ち

青木 土知 さんが
書いてくれました！

議会だより第84号の表紙題字に応募いただきありがとうございました。応募いただいた作品の中から抽選の結果、青木土知さん（寺前区）の作品を採用しました。青木土知さんに題字を書いた感想を伺いました。



題字を書いてみて
力強く書きました。
「わ」がお気に入り
です。

工作に夢中
今は、お菓子やパン、
文房具などをミニチュ
アサイズで作るのに
ハマっています♪

4年生の目標
800m走で自己ベスト
タイムを更新して
いきたい！

議会だより第85号題字の「かみかわ」を募集！

町内在住の小中高生で、議会だより題字の「かみかわ」を書いていただける方を募集します。長半紙（書初め用紙）に横書き・ひらがなで「かみかわ」と書いていただき、応募用紙とともに議会事務局に持参ください。応募作品の中から抽選で決定します。採用時に、顔写真の撮影をさせていただきます。応募お待ちしております！

議会だより第85号の題字の募集期間

令和7年6月20日まで

応募用紙
ダウンロード先



神河町議会のあり方ゼミナール

高校生から70歳代までの町民22名とワークショップ等を通して、これからの神河町議会・議員のあり方を考えてきました。第1ステージでは全6回のゼミナールを開催し、開催結果は議会ホームページに掲載しています。（下のQRコードから閲覧可）6回目の発表会の詳細は3、4ページで紹介しています。



第1回目 基調講演・パネル
ディスカッション



第2回目 ワークショップ
「あなたが思う議員像」



第3回目 ワークショップ
「多くの人が議員をやっ
てよいと思えるためには」



第4回目 ワークショップ
「あなたが町を変えられる？
できることから考えよう」



第5回目 ワークショップ
ゼミナール発表会の内容検討



第6回目 ゼミナール生発表会
町ホームページに発表会の様子を
公開中！



町民が考える神河町議会の課題と解決策

2月2日の発表会では、ゼミナール生が4回のワークショップを通して考えた議会の課題と解決策を議員に対して発表されました。ここでは、発表内容とゼミナール生の感想を紹介します。

私たちはこう考える！ 議会改革施策



竹國健二さん

立候補者を増やすために、議員になるための資質や能力、心構え等を自身で判断できる「議員適性診断サイト」を作成してはどうか。自分が立候補するときだけでなく、友人等に立候補を勧めるきっかけにもなるのでは。



成田新吾さん

今の仕事を続けながら議員になるのが難しいので、町の条例で会社から議員を立候補できるようにしてはどうか。議員を選出した会社には、町がその方の会社の給与を補てんすることで、会社にもメリットがある制度になるのでは。



竹國俊介さん

候補者確保、なり手不足解消のために、学校教育の一環で年1回、「子ども議会」を開催してはどうか。子どもは遊びの中で議会を学び、子どもを通じてその家族が議会に対して興味を持つのではないかな。



一宮真知子さん

議員に立候補したいが選挙費用が原因で立候補できない方がいることから、立候補に必要な費用を町等が負担する「選挙出馬費用支援制度」を創設してはどうか。制度創設により、立候補者増加を目指す。



藤原正好さん

現在の議員報酬22万5,000円では生活は厳しい。議員活動でかかる費用等を政務活動費で計上するとともに、議員報酬を30万円前後に引き上げてはどうか。報酬増額分は議員定数を削減し財源確保してはどうか。

議員の休日は不透明で、長期休暇が取れないという現状がある。そこで、「議員活動計画」を策定し、長期休暇を取得可能にしてはどうか。議員活動計画を公開することで、町民も議会の動きが分かるというメリットがあるのでは。



藤原朋訓さん

議員落選時や任期満了時に元の職場に戻るかという不安があり、立候補しづらい環境がある。会社に休職制度の導入を働きかけ、復職できる環境を整えることで、自身や家族の不安を取り除き、議員のなり手不足解消につなげては。



村岡廣隆さん

今の議会には育児や介護等家庭の事情を優先しづらい環境があり、それがなり手不足につながっていると考えます。そこで、議員活動とプライベート（育児・介護等）をサポートする「神河町議会サポーター制度」を創設してはどうか。

神河町議会サポーター制度とは？

- ①子育て環境改善のため、役場内に託児所を設置。
- ②議員活動をサポートするため、議員コンシェルジュとマネージャーを導入。
- ③家族の負担軽減のため、月約3万円の議員家族手当を支給。



上垣哲史さん



林田直子さん



藪内有希さん

今、神河町では議員が一人もいない地域と複数名いる地域とがあり、地域で偏りができている。その偏りをなくすため、区長制度を廃止し、各地区から議員1名を選出、40名の議員で議会を構成する「区長廃止制度・新神河町ビジョン条例」を制定してはどうか。議員がより身近な存在となり、町民は相談しやすくなるというメリットがある。



松本優介さん

ゼミナールに参加してみてもいい

議員の皆さんが高い志を持って活動されているということが分かりました。

まずは議会を知り、そして理解を積み上げていくことが大切だと感じました。



宮本善郎さん



藤原恵理さん

議会改革調査特別委員長のひとこと

私たち議員だけでは考えつかないような意見もあり、目を開かされる思いです。今後の議会活性化の取組につなげていければと思います。

令和7年度一般会計予算

101億3,100万円

住民と連携し、

“**安心安全のまちづくり**”

に取り組む！



令和7年度一般会計予算は、対前年度比 **7億1,700万円**の**増**となりました。

大幅増額の要因は……

職員・会計年度
任用職員の人件費

UP!

物価
高騰

UP!

消防署
建替費

UP!

標準財政規模54億円のうち**50%**が**人件費**（職員給与）と**公債費**（借金返済経費）の固定経費が占めています。町長からは「限られた財源の中で子どもからお年寄りまでが神河町が楽しい、神河町で安心して暮らせる。特に若者が住み続けたいと思えるまちづくりに取り組む」と所信表明がありました。令和7年度の主要事業は6ページに掲載しています。



標準財政規模とは？

毎年経常的に入ってくる、町の裁量で自由に使えるお金のことです。家庭で例えると毎月のお給料のようなもので、ボーナスのような臨時的な収入とは異なります。

令和7年度の**主要事業**はこれだ！

図書コミュニティ公園「桜空」オープン



歴史と文化が調和する新たなまちのランドマークとなる施設。年代を問わず町内外から集い交流を深める場となります。

安心安全なまちづくり



防災行政無線アプリ連携事業

一部山間部での防災行政無線の受信困難地域で、アプリと連携したタブレット等の利用による確実な防災行政無線の受信を進めていきます。

農業生産者支援



食べ盛り応援神河米事業

今年度も小中学生のいる家庭に、子ども1人当たり30kgの町内産新米を現物配布します。

教育環境の充実



寺前幼稚園長寿命化改良工事

寺前幼稚園舎設置から30年が経ち、屋根等の劣化改修、内部設備の改良など長寿命化に対応していきます。

今年も実施します！ 町独自の魅力的な事業

- ★給食費の半額補助
- ★防犯カメラの増設
- ★河川的环境整備
- ★避難所備品の充実
- ★JR播但線利用促進事業



令和7年度予算に対する

町民の声



ヒルクライム、越知川名水下りサイクリング等でコースの案内や看板を設置し、集客に力を入れて町を元気にしてほしいです。

昨年度の給食費の半額補助と食べ盛り応援神河米事業は大変助かりました。今年度も実施されるのは非常にありがたいです。



住民福祉向上を念頭に、議員が斬り込む 予算特別委員会

議長を除く10人の議員で構成した予算特別委員会を3月11日に開催し、令和7年度各会計予算を審査しました。ここでは、主な審議内容をピックアップして紹介します。

時代遅れにならないよう 若者の意見を取り入れて！

Q 町制10周年時に歌を制作したが、大きな反響はなかったと思う。町制20周年でも記念ソング作成等委託料200万円が計上されているが、今までと同じやり方ではなく、若者の意見を聞いてみては。

A 若者の意見を意見聴取し、時代を感じながら進めていきたい。

Q 20周年記念式典は若い職員のプロジェクトチームに任せて、図書コミュニティ公園で実施できないか。

A 参加者数の関係で、グリンデルホールをメインと考えている。図書コミュニティ公園の活用は別途考えていく。



若い職員に期待（令和7年度新入職員）

防犯カメラの設置場所、 そこで大丈夫？

Q 寺前駅前に防犯カメラを設置する予定だが、駅前商店街にたくさん設置してある。設置が必要な場所を再度検討してみてもいい。

A 学校からの設置要望のため、まずは要望のあった場所に設置し、その後、別の場所での設置も検討していきたい。



駅前商店街を見守っています

有利な交付金は 積極的に利用を！

Q 町にとって有利な交付金である過疎地域持続的発展支援交付金をここ2年間申請していないのはなぜか。

A この交付金は自治体に交付するというよりも、民間に交付するという体系になっている。広報が不十分なので、広報活動を強化していく。

誰も取り残さない支援を！

Q すくすく子育て家庭センター事業は訪問支援の必要な方を支援していく事業だが、支援を必要とされている方の掘り起こしに必要な予算が計上されていない。どう掘り起こしていくのか。

A 妊婦母子手帳交付時、妊娠期、産後に対面で健康状態を伺っている。また、乳児健診や1歳半・3歳児健診時、学校関係とも連携を図りながら、支援の必要な方をキャッチしていきたい。

本当に町で管理できる？

Q グリーンエコー笠形のグラウンドゴルフ場（下の写真）の修繕費450万円が計上されているが、修繕に当たり今後の管理運営はどうするのか。

A 指定管理者側で獣害対応や設備の管理が困難であるため、町で管理する。



獣が掘り起こしてしまっている

管理費は年間2,300万円！

Q 図書コミュニティ公園の年間管理経費はどのくらいを見込んでいるのか。また、芝生の管理は。

A 年間2,300万円を見込んでいる。芝生はシルバー人材センターへの委託と自動芝刈機を導入する予定である。



自動芝刈機（イメージ写真）

病院職員の意識改革は？

Q 令和7年度の入院利用者数目標が厳しい目標設定だと思う。経営改善のためには職員の意識改革が必要だが、意識改革に対する職員の理解はどうか。

A 意識改革なくして目標達成はできないと指摘された。入院患者数が令和4年度実績を突破できる見込みが立ったのは職員の自信になる。職員への意識啓発や達成できたことを共感しながら、次のステップへ上がりたい。



議案の審議結果

小島	木村	小寺	廣納	安部	吉岡	松岡	藤森	藤原	栗原	審議結果
○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	可決

※吉岡議員、栗原議員は欠席のため、採決には加わっておりません。

町民は知っておきたい！



決めたことを
分かりやすく
解説します

3月定例会の注目ポイント

令和7年3月定例会が2月26日から3月24日まで（27日間）開催され、提出された議案計52件は慎重審議の結果、全て可決しました。ここでは、主な審議内容をピックアップして解説します。

YouTubeで本会議の様子を公開中！



2/26
定例会1日目



3/3
定例会3日目



3/24
定例会最終日

人事
案件

新たな教育長、教育委員、人権擁護委員を紹介します

入江多喜夫氏が令和7年3月31日をもって教育長職を辞職されたため、後任に中野憲二氏が任命されました。また、教育委員として山名ひとみ氏が任命されました。人権擁護委員では、前川修子氏を適任者であると意見を付しました。

教育長



中野憲二氏（柏尾区）

教育委員



山名ひとみ氏（東柏尾区）

人権擁護委員



前川修子氏（吉富区）

条例
制定

手話言語条例を制定！

手話が言語であるとの認識のもと、手話言語の理解と普及に努め、誰もが尊重し合い、安全安心に暮らすことができる社会の実現を目指し制定されました。

町はこの条例に基づき、手話通訳者の確保・養成等施策の推進や学校教育での普及啓発、手話言語が必要な児童生徒への手話言語による学習支援に努めます。



「ありがとう」と「お会いしましょう」

消防団員への出動報酬支給が決定！

消防団員の処遇を改善するため、消防団員が訓練等に出動した際に1回2,000円を上限に出動報酬を支給することが決まりました。



令和7年度一般会計予算に賛成！

令和7年度一般会計予算で1名の議員から賛成討論があり、全会一致で可決しました。

私はこちら考える！討論 賛成

藤森正晴議員

過去8年間、反対討論で訴えて続けてきたことが活かされようとしている。企業誘致では、少人数雇用ではあるが空き家を活用したサテライトオフィスを誘致する。若者雇用や移住・定住に繋がることを期待する。中堅・若手職員による課題解決プロジェクトチームは、7年度からの重点施策と私は捉える。皆で知恵を出し、汗をかいての魅力づくりを。

一人では何もできない！しかし、一人がやらなければ何もできない！



議案の審議結果

件 名	審議結果 (全会一致)
教育委員会教育長の任命の件	同意
教育委員会教育委員の任命の件	同意
手話言語条例制定の件	可決
消防団条例の一部を改正する条例制定の件	可決
令和7年度一般会計予算	可決



定例会のその他の
審議結果は
町HPに掲載中

令和7年2月臨時会について

2月14日に臨時会を開催し、専決処分（交通事故）1件と令和6年度一般会計補正予算1件を審議しました。臨時会の様子もYouTubeで公開していますので、ぜひご覧ください。



2/14
臨時会

常任委員会の報告レポート



常任委員会は、3か月ごとに各課事業の進捗状況と重要事業の調査を行っています。
ここでは2月に実施した調査について、主なものを紹介します。

Report No.1

総務文教常任委員会

給食センター

来年度、給食費の補助は？

Q 6年度は国の交付金を活用して給食費の半額補助を行ったが、7年度はどうなるのか。

A 国の交付金が7年度も継続する予定のため、引き続き半額補助を実施していく予定である。



給食好きなひと「は〜い！」

教育課

水中運動で健康に！

Q 町民温水プールの中水運動モニターリング調査で、善玉コレステロールが増えて、中性脂肪は減る効果があった。この結果を公共施設や区の公民館等にポスター掲示するなど、調査結果を有効活用してはどうか。

A 町の広報紙に掲載予定である。ポスターにはどのような形で掲載するか考えていきたい。



総務課

若い人材の確保対策は？

Q 最近、公務員志望者が減っている。給与は国の基準に基づくが、若い人材確保のため町独自で高卒初任給の引き上げはできないか。

A 給与は国の基準があるが、若い人材確保のため町独自で高卒初任給の引き上げをしていきたい。



予算審査ってなに？

予算は、町が各施策を推進するための柱となるものです。必要な施策に予算が反映されているか、町民のニーズを的確に捉えた予算になっているかを議会がチェックすることを予算審査と言います。



Report No.2

民生福祉常任委員会

住民生活課

消防団員を増やすための対策は？

Q 消防団員を増やすために、もっと勧誘に力を入れるべきではないか。

A 消防団活動の中で、防災の啓発と併せて消防団員の勧誘なども行ってもらっている。女性も加入できることや消防団員の処遇などを詳しく紹介しながら、積極的に勧誘を進めていきたい。



18歳の新入団員

健康福祉課

生活保護受給申請者への対応は適切？

Q 生活保護受給申請で、申請者を門前払いするようなことはないか。

A 当町では、決してそのようなことはない。相談は事前に日程調整をして、県のケースワーカーや町の担当者が聞き取りをし、必要に応じて保健師も相談に乗っている。

公立神崎総合病院

医師の数を減らさないために

Q 内科医の退職で外来患者数が減っているとのことだが、医師の数を減らさないための対策は。

A 神戸大学や大阪医科大学の医局等に派遣要請を行っているが、慢性的な医師不足である。引き続き、いろんな手を尽くして医師確保に努める。

上下水道課

下水道管は安全か？

Q 埼玉県八潮市で発生した下水管の損傷による大規模道路陥没事故のような事態が当町にも起こらないか。

A 当町の下水管はコンクリート製ではなく、硫化水素に強い塩ビ系の管を使用しているので破損しにくい。処理場の点検も毎日行っており、異常があればすぐに対応できるので、大きな事故にはならない。



塩ビパイプ

議会 豆知識

百条委員会とは？

自治体の事務に関する疑惑や不祥事を調べるため議会が設置する特別委員会です。百条委員会での虚偽の証言や正当な理由がない記録の不提出には、罰則があります。

Report No.3

産業建設常任委員会

農林政策課

神崎フードの経営が心配

Q 神崎フードの経営悪化が心配だが、状況はどうか。

A 経営状況は、非常によくない。米の値上がりが経営悪化の最大の要因である。このままでは令和7年度以降に債務超過になる可能性が高いので、経営改善計画を早急に作成する必要がある。



神崎フード

ひと・まち・みらい課

企業誘致施策、一步前進！

Q サテライトオフィスの設置で、設置を希望する4社と話をされている。1日も早い設置を期待するが、いつ頃になるのか。

A 事務所を置く場所の問題があるので、場所が見つかりしだい設置になると思う。



サテライトオフィスとは？

企業の本社・本拠地から離れた場所に設置する小規模オフィス

図書コミュニティ公園の 安全管理は？

Q 図書コミュニティ公園「桜空」完成から7月のオープンまでの約3か月の保守管理、安全管理はどうするのか。

A 完成後は教育課の管理となる。オープンまでは入口等はカラーコーンで閉め、安全管理としてセコムでの対応を予定している。



オープンまで
入らないでね

委員会から申し入れ！

グリーンエコー笠形指定管理者の 指定取り消しの検討を！

グリーンエコー笠形は3年連続赤字が続いており、6年度も指定管理者から償還補てん金355万円の支払免除の申し出が町にありました。町は指定管理者に対し収支決算見込み等の提出を求めましたが提出されておらず、指定管理契約に違反するとみなされます。

この状況から、今後も指定管理者の対応が不十分な場合は、町は指定管理の取り消しについて期限を設けて対応すべきと委員会から申し入れしました。

県道加美穴栗線改良促進議会連絡協議会

令和6年12月24日に連絡協議会を開催し、姫路土木事務所へ要望を行いました。要望内容と回答は次のとおりです。

要 望

回 答

福本から柏尾までの
自転車・歩行者の
安全対策



4年度から路肩拡幅
に着手。6年度は用地
測量を実施する。

上小田地内の
早期拡幅改良



神崎南ランプから峰
山高原リゾート間で
センターラインがな
い箇所着手。

穴栗市一宮町本谷
から上小田間の
トンネル計画の検討



長期的な課題として
取り組む。

町政の“ここ”が
知りたい!!

一 般 質 問

次のページから各議員の主な質問と答弁を要約して掲載しています。

QRコードを読み取ると、各議員の一般質問の動画をYouTubeでご視聴いただけます。

ケーブルテレビ再放送日

安部重助議員

5月6日(火) 午後7:00～

廣納良幸議員

5月6日(火) 午後8:00～

木村秀幸議員

5月7日(水) 午後7:00～

小島義次議員

5月7日(水) 午後8:00～

本会議を

傍聴してみませんか！

本会議では、まちづくりや町民の生活に直結する重要な問題が審議されます。町政を身近に感じられる場でもありますので、ぜひ傍聴にお越しく下さい。



県道岩屋生野線、アスファルト舗装の早期改善を

安部 重助 議員

ひとこと

住民の思いを大切に



2050 神河将来ビジョンの考え方

廣納 良幸 議員

ひとこと

入江教育長、お世話になりました

Q 県道岩屋生野線のアスファルト舗装の改善を望む。

A 町長 大変重要で切実な要望と理解している。機会あるごとに要望を続けているが、緊急度や費用対効果が低いこと、県の財政状況からも整備の兆しが見えていない。

Q 計画的な舗装整備を望む。県に代わって町で道路整備できないか。

A 建設課長 安全な道路環境を維持するために早急な対策が必要である。

県道整備は県が実施するのが原則である。直接的な財政支援はできないが、共同施行を念頭に協議を進めていけるようにしたい。



県道岩屋生野線

Q グラウンドゴルフ場整備計画の進捗は。

A 町長 グリーンエコー笠形のグラウンドゴルフ場を修繕し維持する方針である。

Q 管理について、指定管理者との交渉経過は。また、今後の整備計画は。

A ひと・まち・みらい課特命参事 指定管理者が芝管理、獣害対策等の費用負担が困難で辞退されたため、町で管理する。

令和7年度予算成立後、修繕工事に着手する。管理体制等は6月議会で提案予定である。

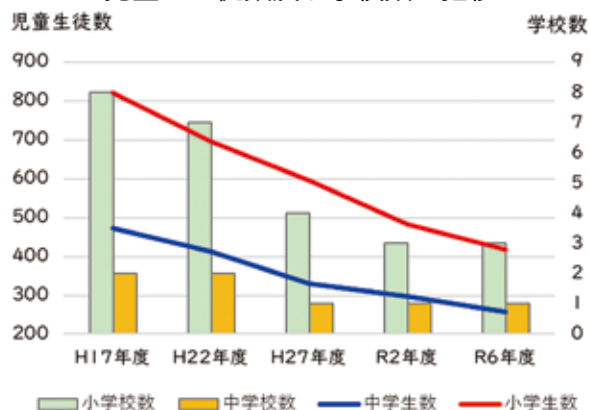
Q 「2050神河将来ビジョン」で、町長部局・教育委員会部局の考え方、変化は。

A 町長 神河町では人口減少が進む中、2050年の理想とする未来の姿を描いた「2050神河将来ビジョン」を策定し、全体の目指す姿を「変わらない風景を未来の世代へ」としている。「第3期神河町人口ビジョン並びに地域創生総合戦略」の最新の人口見通しでは、2030年に8,525人、2040年に6,794人へと減少が見込まれており、人口減少抑制策を戦略的に実施し、長期的には長期総合計画に基づいて事業を実施する。

A 教育長 児童・生徒は減少するが、しっかりとした教育環境を維持しつつ、より質の高い学びの機会を確保することが求められていると考えている。

A 教育課長 児童・生徒数及び学校数の変化として、神河町合併時と令和6年度で比較すると、小学生は51%、中学生は54%と約半数になっている。学校数は、小学校が5校減、中学校が1校減となっている。

児童・生徒数及び学校数の推移



神河町の 知名度アップに 木村秀幸 議員

ひとこと

合併して20年。1つになりましょう



Q 今年は神河町合併20周年だが、姫路の方でいまだに神河町を知らない方がいる。知名度アップのためにできることは。

A 町長 7月オープンの図書コミュニティ公園「桜空」とともに神河町を広めたい。公共施設名や駅、播但連絡道路のランプ名に「神河」を使って神河町を知ってもらう方法はある。費用の問題や住民の思い入れがあり、すぐにはできないが、将来的には必要な取組だと考える。

通学路の安全対策

Q 12月上旬は日の入りが早く、中学生が下校時に通る県道や町道は暗くて危ない。街路灯や防犯灯は確保できているか。

A 教育長 通学路交通安全対策協議会で緊急を要する案件として議題に上がっていない。

A 建設課長 メインの通学路には街路灯を新設してきた。また、道路照明灯や沿道の店舗、通行車両のヘッドライトの明かりもあるので、支障はないと思っている。

A 住民生活課防災特命参事 防犯灯は県道、町道ともに基準に基づき設置しており、確保できている。



夜は街路灯がないので真っ暗

将来への 安心づくりを 小島義次 議員

ひとこと

地域創生総合戦略の目標達成で魅力ある町へ



Q 寺前小学校前の道路は車の交通量が多く、スピードも出ている。運転者への意識付けのため路面に学校マークを標示し、事故防止に努めては。

A 教育長 交通量が増え危険度が増したので、注意看板等の設置により安全な環境の整備に努めてきた。学校マークは要望があれば対応を検討する。

A 建設課長 通学路交通安全対策協議会で協議し、必要であれば対策を講じる。



学校マーク

第3期人口ビジョン並びに 地域創生総合戦略の取組

Q 当戦略の「基本戦略に基づく取組」で、取組内容は各課で年間計画として具体化されていくのか。

A ひと・まち・みらい課長 基本目標を達成するための40事業について、内容を具体化し効果的に実施する。また、計画期間の令和10年度まで毎年評価し、進捗を管理する。最終目標数値は必達目標であり、町の将来に繋がる重要な計画であるので精一杯努力する。

聴 町民の貴重な 声

1月27日に神河町商工会「次世代プラン創造委員会」の皆さんと意見交換会を開催しました。意見交換会で出た主な意見・要望を紹介します。



テーマ：少子化、子育て



宮本善郎さん

役場に届けを提出したときに、自身が受けられる支援の一覧がほしいです。

令和6年3月定例会で子育てサービス一覧表の配付について一般質問し、窓口で配付するようになりました。



吉岡嘉宏議員

テーマ：町の活性化



松岡宣彦議員

商工会員が儲かれば町は活性化していくと考えます。商工会員が儲かる方法を考えて議会に要望として上げてほしいです。

町内の企業や事業所にとって有益な情報や補助が増えれば、町の活性化（起業、参入、雇用、移住等）につながるのではないのでしょうか。



小林裕介さん

テーマ：町内の移動手段



森本敬司さん

神河町でもライドシェアできるように申請してみたいかがでしょうか。スキー場へ行くシャトルバスが予約で満席のため、増便してみたいかどうか。

現状、ライドシェアは制度上、町内では導入できません。交通空白地になれば導入できますが、現在は検討中です。

スキー場シャトルバスは町の財政負担が多く、増便は厳しいと考えます。



藤原すずよさん

神河町に電車で来られた方から、電車来ると土日はタクシーがなく、遠くに行けないので不便だと聞いたことがあります。



小寺俊輔議員

テーマ：議員のなり手不足



藤原晃一郎さん

議員報酬が少ないので、仕事と議員を両立しないとやっていけません。会社員には両立が難しいと考えます。町を良くしようという志がない限り、若い方の立候補は難しいのではないのでしょうか。



安部重助議員

私が議員になってよかったと思えることは、いろいろな人に出会えたことです。多くの方と出会い、政策につながったことは私の財産です。これは議員にならないとなかなかできないことなので、私は議員になる1つのメリットと考えます。



森本敬司さん

若い人が議員一本で生活できるほどの報酬を支払える財政が豊かな町はなかなかありません。現状の報酬に見合った労働にするため、専門特化型で効率化を行い、働く時間を減らしてはどうでしょうか。



松岡宣彦議員

議員の専門特化型は賛成です。今は4つの委員会に所属し多くのことを勉強する必要がありますが、定数を増やし負担を減らすことができれば報酬を上げる必要はないと思います。



森本恭平さん



稲川恭子さん



田中博士さん



竹澤克裕さん



藤原嵩晃さん

掲載している意見・提案以外にも町政、議会に対していろいろな声を聴かせていただきました。貴重なご意見をありがとうございました！

開催希望団体・グループ募集中！

意見交換会で町民の皆さんから町政や議会に対しての意見・提案等を直接お聴きし、政策提言等に反映していきます。申込は右のQRコードを読み込んでください。随時募集していますので、ぜひお気軽にお申込みください！



町民に開かれた議会を目指して

議会改革の“いま”と“これから”

令和4年の町議会議員選挙が無投票、定数割れであったことを受け、議会改革を推進するための議会改革調査特別委員会を令和6年5月に設置しました。町民が意見を出しやすく、多様な考えが届く議会にするために取り組んできた内容を紹介します。

これまでの取組

先進地視察

令和5年7月に議会運営委員会で宮城県大和町議会、柴田町議会を訪問し、議会改革の取組を調査しました。



神戸国際大学との連携

大学生が見た議会の様子、町内を巡って感じた思いをもとに意見交換を実施しました。



常任委員会による政策提言

住民の声を町政に反映させるため、政策提言を2回行いました。議会だより No.82 に提言後の町の取組を掲載しています。



意見交換会の裾野を広げる

町内で活動されている少人数の団体やグループ等を対象に意見交換会を開催してきました。



YouTube 動画配信

令和4年からYouTubeで本会議の様子を公開しています。お持ちのパソコンやスマートフォンでいつでも視聴できます。

タブレット端末の導入

合理的な議会運営を行うため、令和3年8月からタブレット端末を導入し、資料の閲覧、スケジュール管理を行っています。

令和6年度の取組

神河町議会のあり方ゼミナール

(第1ステージ)の開催

町民の議会への関心を高め、議会の活性化を図る目的で、町民がゼミナール生となる「神河町議会のあり方ゼミナール」を開催しました。第1ステージの詳細は2～4ページで紹介しています。



議員報酬の改善調査

議員報酬の適正化を検討する材料として、住民との対話や資料作成など目には見えない議員活動を数値化する活動を行いました。

議会だよりのリニューアル

親しまれる議会だよりを目指し、No.81からリニューアルしました。



これからの取組

神河町議会のあり方ゼミナール

(第2ステージ)の開催

ゼミナール生が議員になるとしたときの町の課題は何か、選挙公約に何を掲げるかを議員と一緒に考え、模擬議会で町の執行部に対して政策提言(一般質問)を行います。

議員報酬の適正化・定数の見直し

議員報酬の改善調査の結果から、神河町議会議員の適切な議員報酬・定数を導き出します。また、各地域での議員報告会を行います。

議会改革の取組を進め、

町民が意見を出しやすく、多様な考えが届く議会

を目指します！

委員長のひとこと

令和8年4月執行予定の町議会議員選挙まであと1年です。それまでに議会の魅力向上と更なる情報発信に努め、次期選挙までに多くの方が立候補できる環境を整えたいと考えています。



小寺俊輔委員長



#かみかわイイネ



ー 最年少の議会のあり方ゼミナール生 ー

まつもと ゆうすけ

やすだ そうた

松本優介さん、安田草唄さん

神崎高校に通う松本優介さん(17歳)と安田草唄さん(17歳)に議会のあり方ゼミナールに参加してみた感想をお聞きました。



1 参加してみて印象に残ったことは。



松本さん 自分たちで考えたアイデア(政策)を議員に向けて議場で発表しました。貴重な体験となりました。

3 議会や政治で、「これはもっと多くの若い世代も知るべき」と思ったことは。

松本さん 議員選挙に思ったよりもお金がかかることです。また、議員は怖いイメージではなく、とても優しい人たちばかりです。

2 議会や政治に対するイメージは、参加前と後で変わりましたか。

安田さん 議員は自分たち学生とはかけ離れた存在だと思っていましたが、意外に身近な存在であり、よく知っておく必要があると思いました。



4 同世代の友達にも、こうしたゼミナールへの参加を勧めたいですか。

安田さん 勧めたいです。自分たちの世代はあまり議会・政治に関しての知識がないので、自らの意思で積極的に知るべきだと思います。

5 ゼミナールをより良くするために、工夫できることは。

松本さん 学校の授業に体験授業として取り入れてほしいです。学生も一度参加すれば楽しんでもらえると思います。

取材日:令和7年3月21日/取材者:小寺俊輔

あとがき

真新しいランドセルを背負った1年生が目に留まる季節。3月議会で慎重に審議した当初予算で、本年度の施策が動き始めました。

私たち広報委員も心を新たに、より愛される「議会だより」を目指して頑張っています。

(松岡 宣彦)



広報公聴活動調査 特別委員会

委員長	小島 義次
副委員長	木村 秀幸
委員	小寺 俊輔
	松岡 宣彦
	藤原 資広
	栗原 廣哉